

日本の国際化と 子供の未来

講師

アグネス・チャン



晩秋の11月11日、新横浜国際ホテルに於て「税を考える週間」協賛行事の一つ、事業委員会主催により、皆様よくご存知の「アグネス・チャン」の講演会が行われました。

昨年、神奈川法人会と初めての合同講演会が、好評でしたので今年も一緒に行ないました。今回は、緑が全体の統括になり、前々から入念の打合せを行ない、当日は役割分担の通り、各々持ち場に付きましました。ちなみに私は「講師控室」担当という事で、色々な期待にみちみちていましたが、講演が始る迄、控室のドアの外で色々な人が中に入らないように立ちばかり、ギリギリの時間までアグネスが一人中で講演内容の練習をしているのか、声が聞こえてきていました。

当日は530名を越えるご参加をいただき、ご来賓には緑税務署署長はじめ緑、神奈川税務署関係の皆様にお越しいただきました。

ご来賓の挨拶も済み、いよいよアグネスの紹介が始まりました。アグネスについて今まで私達が知っているのは本当にごく一部で、歌手、エッセイスト、香港生まれで日本人のご主人と結婚（本名 金田さんで、後でアグネス本人から控室で聞く事ができました。）お子様が3人、極々皆様をご存知の事でしょう。日本ユニセフ協会大使とか、日本香港大使等を受けて、世界平和の為に、子供達の為に様々な国に出向き、難民救済コンサートやチャリティーコンサート等を行っていらっしゃる事を初めて知りました。又、色々な国の人々、子供達に遭遇した時の話して、戦争が終っても内戦が続いている国。地雷がどこに埋まっているかも分からない為の子供達の事故。何年たっても中々復興できず、他国の援助がなければ未だ、子供達が餓死や病氣から救えない、むごたらしい場面。

もどかしさの余り、現地の子供達と一緒に生活して、病氣になっても、死んでも良いと思う位になった事。

子供の目の回りや口の回りにハエが群がってとまっても、振り払おうとしない画面をテレビでみた事ありませんか？

私、その意味がやっと分かりました。

私達でしたら気持ち悪くて一匹だって嫌ですけど、振り払う体力も気力も失せていて、ハエは目や口の水分めがけて群がっているのだと。

アグネスが一生懸命身ぶり手ぶりで話をして、その場面を思い出したのか、言葉のもどかしさも手伝ってか、目に

りに光る涙を手でぬぐっていました。

せめて歌で平和の願いを込めて、替え歌で、その国の言葉を入れて聞かせたところ、やがて飢餓で苦しん

でいる子供達も、「合の手」を入れて盛り上げてくれる、どんなに言葉や文化が違ってても解りあえる事！お互いに認めあう事！の大切さを語って下さいました。アグネスが言おうとしている事、私達は頭では理解しているつもりです。

色々なことに遭遇したアグネスの気持ちを言葉以上に押し量り、彼女の「なぜなぜ、どうして」でも、どうしてあげられることも出来ない歯がゆさも感じ取る思いになりました。

アグネスも自分の心の矛盾と葛藤しつつも心の元氣と、病氣もせず何時も笑顔で、まだまだ3人のお子様の母親ですから無理せずに。そしてアグネスには歌という天職があるので、色々な人に夢を与え続けて下さい。途中の自作の歌もとてもしみみりとア・カペラで心に響きました。

これからも、どうか歌を通して「子供達に明るい未来を」、そして少しでも世界平和につながるよう、いろんな世界で、ご活躍いただきたいと思います。

最後にジョン・レノンの歌も歌って下さり、帰り際、会場の皆様には「ユニセフ募金」をしていただきました。どうもありがとうございました。今回、神奈川法人会様並びに皆様のお力添えを賜り、無事に講演会を終える事ができましたこと、事業委員会一同心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。（事業委員 野路幸子）

